市制施行十周年 新町建設二十五周年 記念論文

最優秀（小中学生の部）

葛塚中学校3年生グループ

鶴間　智君
渡辺　孝君
水野裕之君
菊田由紀さん
常木茂美さん

左から渡辺、常木、水野、菊田、鶴間のみなさん。

「豊栄市の明日を考える」

私達は、豊栄市に住んでいます。決して住みにくい市ではありません。

この豊栄市は、新潟市に近く、通勤の便が良いという立地条件のため、団地が造成され、新しい住宅がどんどん増加し、この調子でいくと、現在四万人の人口も、いずれは十万人に達するのではないかと予想されます。このため、市の発展は、〝ベッドタウン〟としての機能を充実することと従来からさかんだった農業、商業を中心に、さらに軽工業などを誘致することで、果たされるのではないかと思います。

私達中学生は、及ばずながら今後の豊栄市の発達や、そのための政治に関心を持っています。そこで、この豊栄市が、より良い市になるにはどうあるべきかを討論してみました。

第一に私達は、文化活動、運動が活発な明るい市であることを望みます。その他、いろいろと希望はありますが、三つの項目を取りあげ、順に述べていきたいと思います。

一、交通網の拡充

鉄道の面では、早通駅が無人駅であるということが問題です。早通地区は、人口の増加が著しく、また、ベッドタウンとしての働きの大きい所で、そのため駅で〝切符が買えない〟〝荷物の輸送が出来ない〟という現在の状態では、とても不便でなりません。市民は、住みよい環境の下にあるとは言えないのです。そこで、自然を破壊しない程度に、福島潟、新井郷川やその他の主要な川の土手を高くし、幅広くして、さらにその土手を市民のジョギングコースやサイクリングコースに利用してはどうでしょう。それを造ることによって、水害からのがれることが出来ますし、また、市民の憩いの場所にもなります。

道路交通の面では、新潟や新発田への直通の道路がないというのは困ります。特に、自動車通勤の方々は、毎日、この不便さを痛感していると思いますし、また、このための時間のロスは相当なものです。将来、この問題が解決されれば、従来よりも時間的に余裕を持った生活を営むことが出来ると思います。

道路交通の面では、新潟や潟、新井郷川やその他の主要な川の土手を高くし、幅広くして、さらにその土手を市民のジョギングコースやサイクリングコースに利用してはどうでしょう。それを造ることによって、水害からのがれることが出来ますし、また、市民の憩いの場所にもなります。

次に、現在の市の道路は、全体的に道幅が狭いのではないでしょうか。特に、市の中心である葛塚地区の上大口―中町―下他門線で、このような印象を受けます。このままでは、発展から取り残されるだけでなく、市の繁栄の妨げになるのではないかと思われます。そこで、将来の発展を押し進めるためにも、道幅を全体的に拡張してみてはどうでしょう。また、その際には〝歩道の建設〟〝街路樹の植樹〟〝街灯をもっと明るくする〟などの道路設備の改善も是非つけ加えていただきたいと思います。実現すれば、両側に歩道のある広い道路、街路樹の中を散歩する市民、夜も明るく輝く街など。このような環境の中で夢やロマンが生まれ、明るい市民性が養われ、活気に満ちあふれた市となっていくと思いますし、交通事故も激減するはずです。

二、水害の克服

「水害」このために、過去多くの人々が莫大な努力と犠牲を払ってきました。しかし、まだ現在でも完全に克服されてなく、雨が降るたびに、市民は心配しなくてはなりません。これでは、市民の生活が住みよい環境の下にあるとは言えないのです。そこで、自然を破壊しない程度に、福島潟、新井郷川やその他の主要な川の土手を高くし、幅広くして、さらにその土手を市民のジョギングコースやサイクリングコースに利用してはどうでしょう。それを造ることによって、水害からのがれることが出来ますし、また、市民の憩いの場所にもなります。

次に、「豊栄市」この名の通り、私達は心身共に豊かに育ち、市を栄えさせていかなければなりません。そして私達一人ひとりが、そのための努力を惜しんだり怠ってはならないのです。

景、さわやかな空気など、多彩な自然に身近に触れることが出来ます。朝日を浴びながら、あるいは休日のひとときを、市民がジョギングや散歩に過ごす情景を想像してみて下さい。

「おはよう」

と互いに、あいさつをしあう声が聞こえてきませんか。

三、市民活動の施設

豊栄市には、文化、運動の施設が少ないと思います。体育館、プール、広い屋外競技、文化会館などを造って、市民全員がスポーツや文化活動を楽しめる活発な市にしたいと思います。まず、体育館についてですが、市内の小中学校の体育館に頼りきっているのが現状です。しかし、学校の部活動で使われることが多く、一般の生徒や市民の方々が使うのは難しいようです。ですから、バレーボールやバスケットボールをやりたがっている人が多いにもかかわらず、体育館があいていないために、あきらめなくてはいけないことになってしまいます。ですから、大きな市の体育館を造って欲しいのです。具体的には、バスケットのコートが二面とれるような広さで、観客席が階段状に造られ、荒川町の体育館のように、ギャラリーの通路が走路にも使えるのが理想的だと思います。

次に、プールについてです。学校のプールもありますが、狭いために、のびのびと泳ぐことが出来ません。水泳は全身運動ですからのびのび泳ぎたいのです。例えば、競泳のできる五十メートルプールにし、ウォーターシュートの設置された幼児用プールと併設

最優秀（一般の部）

本間重蔵さん

豊栄市の将来

〝その夢と希望を〟

一、はじめに

昭和三十年、三町村合併し、その町名を「豊栄町」とした時、私はいい町名だと期待と希望を持った。それ以来二十五年、新潟地震、七・一七、八・二八水害を乗り越え、新潟東臨海工業港の発展、豊栄高校の誘致、市制施行、新興住宅地の誘致、福島潟干拓の完工などその名の如く「豊かに栄える町」となった。

先般、新潟地域広域市町村圏協議会の当市住民意識調査によると、（豊栄広報別所載）

豊栄市は住みよいか

よい　二〇・五％
どちらかと言えば住みよい　五八・八％
どちらかと言えば住みにくい　一八・二％
住みにくい　二・五％

となっており、約八〇％が住みよいと答えている。更に同調査で豊栄市をどんな都市にしたいかについて、

農業都市　三一・八％
住宅都市　二九・九％
文教都市　一五・七％
産業都市　一三・二％
工業都市　五・六％
その他　二・八％

であった。一方、市では去る五十一年二月総合計画審議会を設置し、その基本構想を発表している。それによると目標年度の六十年度には人口五万四千とし、昭年二・九％の増加を見込んでいる。産業構造は第一次産業一五・九％、第二次産業三〇・〇％、第三次産業五四・一％となり、市民所得では五十年に県水準の九〇・一％であったが、目標年には県水準に達するとしている。そこでここに市の将来について産業、教育、交通問題を主として、県及び他の市町村と比較しながら考えてみたい。

次に県の本年七月一日推計人口及び五十四年度県人口移動調査によると表1となっており、これによると六市町村のうち当市は一番人口が多いしかし、五市町のうち第二次産業人口が一番多く、第三次産業人口が一番少ない。

ところで、都市計画策定の場合その市の性格、特色を農村型か、住宅地か、文教都市か、工業など産業都市かが問題になる。私は当市の場合は

ことが大切なのです。文化会館が建設されれば、市民の演劇活動やフォークコンサートなどが開かれ、市民の文化水準が上がると思うのです。私達の芸術を育てるためにも、文化会館は必要なのです。

さて、施設の建設について述べましたが、最も大切なこととしては、市に住む私達自身の生活態度や行動のあり方であることを忘れてはなりません。私達市民が、明るく建設的で、市の発展に協力的態度であること、そして、他の町から移住してきた人達に対して暖かな気持ちを持つことは第一次産業一五・九％、第二次産業三〇・〇％、第三次産業五四・一％となり、市民所得では五十年に県水準の九〇・一％であったが、目標年には県水準に達するとしている。そこでここに市の将来について産業、教育、交通問題を主として、県及び他の市町村と比較しながら考えてみたい。

次に県の本年七月一日推計人口及び五十四年度県人口移動調査によると表1となっており、これによると六市町村のうち当市は一番人口が多いしかし、五市町のうち第二次産業人口が一番多く、第三次産業人口が一番少ない。

ところで、都市計画策定の場合その市の性格、特色を農村型か、住宅地か、文教都市か、工業など産業都市かが問題になる。私は当市の場合は

いずれの方面をも併行に推進してゆくことが望ましいと思う。なぜならば、いずれも発展の可能性を持っているからである。

二、工場の誘致を

資源が乏しく、人口の多いわが国は必然的に加工貿易立国としての発展が望まれる。田中元総理の「日本列島改造論」にもわが国は高級、密度の高い工業製品を諸外国に提供してゆかなければならないと言っている。また塚田元県知事は本県の恵まれた土地、人、人口で工業県にと、新潟東臨海工業港の誘致に力を入れた。

次に「新潟の工業」（五十四年）によると表2となっており、黒川村は早くから過疎対策の一つとして工場誘致に積極的であった。加茂市は地

表1

	人口	第一次産業	第二次産業	第三次産業	分類不能
		三二・九％	三二・六％	四四・四％	〇・一％
県平均	――	一四・八％	四九・五％	三五・七％	〇・〇％
加茂市	三六、九一四人	一四・八％	四九・五％	三五・七％	〇・〇％
吉田町	二三、九八六	一五・九％	三九・一％	四四・一％	〇・四％
巻町	二八、四二〇	二二・六％	三〇・六％	四六・六％	〇・二％
黒埼町	二〇、〇四七	一八・六％	二八・二％	五二・八％	〇・四％
黒川村	六、三九三	四二・八％	三二・一％	三五・〇％	〇・一％
当市	四二、八一	二七・七％	二六・八％	四五・四％	〇・一％